

計画が進む、
社会教育複合施設「ととと」。

町民、関わる人が「自分たちの場所」と、
感じるような施設にならいいなど
思うけれど、
実際、どうすればいいんだろう？

全国各地で素敵な施設を運営する
ゲストスピーカーとともに
大熊のこと、
とととのこと、
居場所のこと、
コミュニティのこと、
みんなで一緒に考えてみませんか？

まちの新しい施設をどう育てる？

2/28
sat
2026

13:00-17:00 [開場12:30]

会場
CREVAおおくま
(大熊町産業交流施設)

参加申し込み

右記のフォームから
お申し込みください



【主催】大熊町教育委員会(NPO法人インビジブル)

「ととと」 公開作戦会議

大熊町社会教育複合施設

大熊町社会教育複合施設「ととと」 公開作戦会議

2/28
2026

13:00-17:00 [開場12:30]

会場

CREVAおおくま
(大熊町産業交流施設)

〒979-1308 福島県双葉郡大熊町
大字下野上字大野116-5

対象

町民、自治体関係者、
建築・まちづくり関係者、学生等

定員

50~80名程度(オンライン配信も検討)

参加申し込み

方法・1 Webから(推奨)



24時間受付・最短1分
スマホで読み取るだけで完了

方法・2 お電話から

050-3710-8483

【受付時間】平日10:00-17:00(担当:山本)
お名前、ご連絡先、所属をお伝えください

【参加費】無料

ゲスト

登壇者

山口情報芸術センター
[YCAM] 他

モダレーター



山口博之 氏

(ブックディレクター/編集者/
good and son代表)

1981年仙台市生まれ。立教大学文学部英米文学科卒業後、2004年から旅の本屋「BOOK246」に勤務。06年から16年まで選書集団BACHに所属し、17年に独立してgood and sonを設立。公共図書館やオフィス、ショップ、ホテル、病院、個人邸まで様々な場のブックディレクションを手掛ける他、様々なメディアの企画、編集、執筆をはじめ、リサーチプロジェクトからプランディングまで編集という概念/手法による実践を続けています。

まちの新しい施設をどう育てる?

いま、大熊町では復興と新しい町づくりの核となる社会教育複合施設「ととと」の計画が進んでいます。この施設は、図書機能を中心に据えつつ、多様な世代が交わり、学び、活動する地域の「リビング」のような場所を目指しています。施設オープンに向け、ハード(建物)だけでなくソフト(運営・活動)の質を高めるためには、先進的な成功事例の知見を取り入れるとともに、町民や利用予定者が企画段階から関わり、「自分たちの場所」として愛着を育むプロセスが不可欠です。

「ととと」については
こちらのnoteを
チェック! >



タイムスケジュール

13:00-13:10 [オープニング] 開会挨拶、趣旨説明、本日のゲスト紹介

13:10 - 14:25 [第1部: ゲストプレゼンテーション]

テーマ
先進事例に学ぶ、施設コンセプトと
人が集まる場のつくりかた

国内各地からお越しいただいたゲストに、それぞれの活動を紹介いただき、「ととと」をより良い場所にするためのヒントを探します。

14:25 - 14:45 [休憩]

14:45 - 15:05 [第2部: プrezentation]
大熊町「ととと」の現在地とこれから

「ととと」の建設を進める町の担当者より、施設が目指すビジョンや施設機能、現在抱えている課題などを発表いただき、「ととと」の現在地を共有します。

15:05 - 16:25 [第3部: 公開作戦会議(ディスカッション)]

テーマ
とととを『使い倒す』ためのアイデア会議
(モダレーター:山口博之)

これからできる「ととと」の現状を踏まえ、来場者の方と一緒に、この場所をより良い場所にしていくための公開作戦会議を開催します。

16:25 - 16:30 [本日のまとめ]

今日の議論をまとめ、こ
れから「ととと」が目指
す方向性を確認します。

16:30 - 17:00 [交流タイム]

【主催】大熊町教育委員会(NPO法人インビジブル)